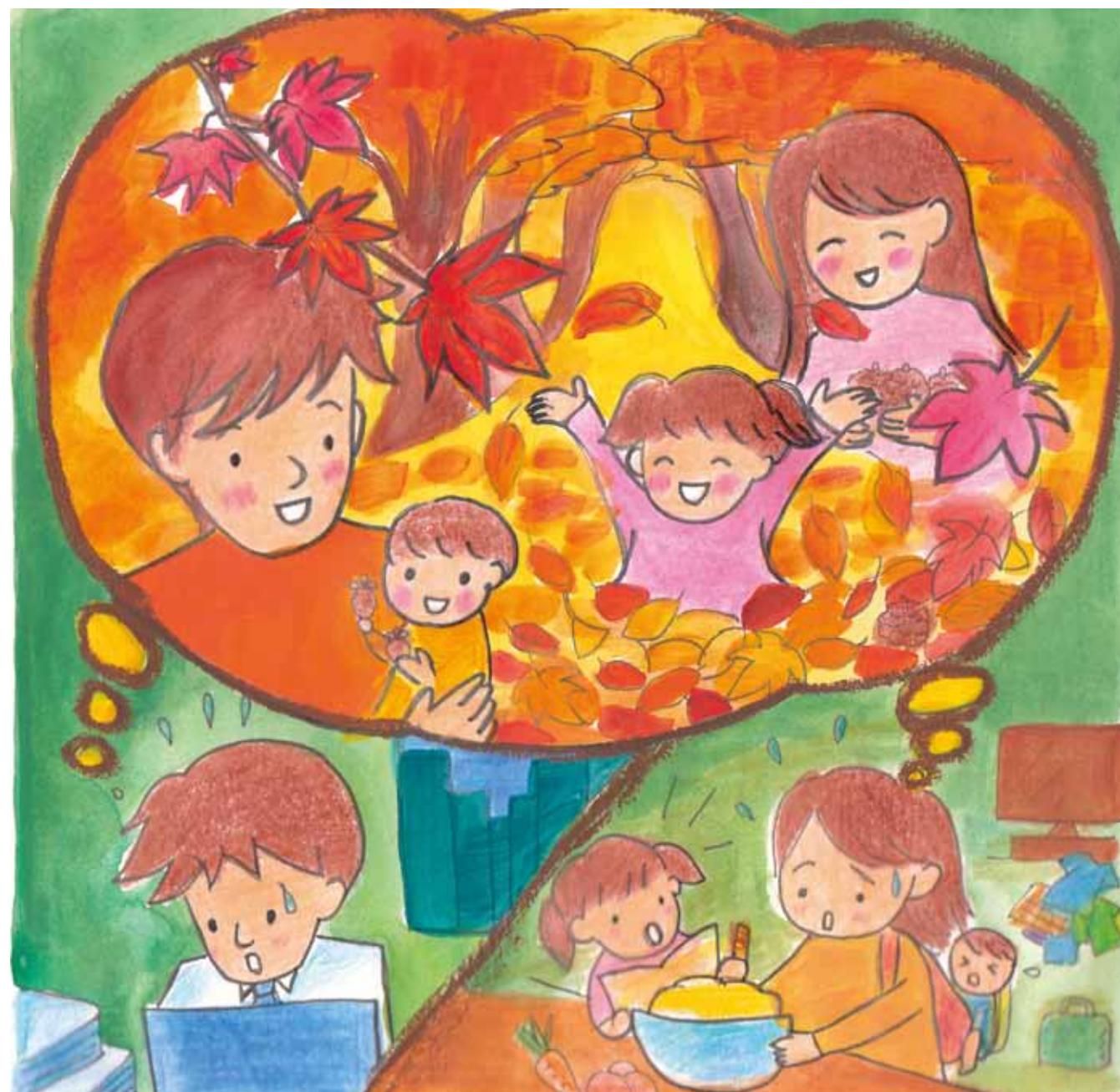


自分らしい生き方、応援します！

Take
Free

第86号
2018.OCT

ソーレ・スコープ



イラスト：ヒビノケイコさん（4コママンガエッセイスト）

特集

男女共同参画推進月間講演会

「居場所」のない男、「時間」がない女
～ワークライフアンバランスな社会を考える

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」ってなあに？

詳しくは 高知 ソーレ 検索
HP <http://www.sole-kochi.or.jp>



HP



Face Book

「居場所」のない男、「時間」がない女



ワークライフアンバランスな社会を考える



社会学者ジュリエット・ショアは、経済的な豊かさによらず人間の生活満足度を上げるのは「自由になる時間」と「良好な人間関係」と言う。日本は「性別分離」（ジェンダー・セグリゲーション）社会で、本人の適性や個性よりも性差、性別がライフコースに与える影響が大きすぎる。そのことが、女性から時間を、男性から人間関係を奪っている。

居場所のない男性

日本では所得や社会的な地位では男性が圧倒的優位に見えるが、自殺、孤独死、引きこもりなど「命にかかる問題」は男性がずっと深刻だ。

自立には経済的な自立と身辺自立があり、男性は経済的自立は厳しく言われるが、身辺自立は、特に現在35歳よりも上の家庭科中学高校完全義務教育化以前の世代では、自分のケアは妻がやってくれて当たり前というように育てられた人が多く、身辺自立の意識が乏しく、スキルも低い。

少子化は、女性が2人目以降をすんなり産めるようにならないと解消しないが、そこでも見落とされがちのが、男性の家事・育児参加だ。これは男性の身辺自立や生活のスキル向上などいいことずくめなのに、非常に軽んじられていてなかなか進まない。

「男性は仕事をして自活できるはず」この前提のもとに求められる家計責任は根強い。「結婚後の家計は夫が支えるべき」これについて、共働き多数派のスウェーデンでは1.6割くらいが、日本では男女共概ね7割がイエスと答えている。いかに日本では男性の家計責任が重いと考えているのかがよく分かる。

OECD経済協力開発機構の報告では、日本の男性は仕事以外の人間関係が「全くない」「ほとんどない」と答える人が先進国でも突出して多い。仕事をしているうちは全てうまく回るが、退職すると途端に居場所がなくなってしまう。これを私は「関係貧困」と呼ぶ。日本の男性は、社会的孤立リスクが先進国一高いといえる。退職後は、地域で家族を通じた付き合いはあっても、1人暮らしだと途端に社会的に孤立してしまう構図だ。



首都圏郊外地域で1人1日当たりの移動量を測る調査では、女性は徒歩、車、自転車などで約26分圏内で仕事を見つけるが、男性は大体都心部に出るため70分以上通勤に掛けていた。夫婦は生涯は共にしても生活時間・空間を共有していない。

このように男性と女性で生活時間・空間がズれたままずっと年月を重ねると、妻にとって夫はどんどん邪魔な存在になり、夫が家にいるというだけで妻の健康状態が悪化するということが起こっている。

では、なぜそうなってしまうのか。一つは、家に夫がいる時間は妻の労働時間になるからだ。夫が「自宅は一方的にくつろぎ、癒してもらう場」だと思っていると、妻にとってはケア労働の時間になり、職場の上司が24時間横にいる感覚になる。だからうっとうしいと思われ、男性は居場所を失いがちになる。

時間がない女性

日本の有業男性の平日仕事時間は平均6時間49分、女性は4時間47分。家事関連時間は週全体の1日平均が男性は平均44分、平日30分。ところが女性は平日も休日も差がなく概ね3時間半前後。女性は平均で男性の5倍の時間分家事をやっている。

ちなみに、一番手間が掛かる6歳未満の子どもを持つ世代の家事・育児時間を国際比較すると、日本の女性は突出して長く、他方男性は先進諸国の男性の3分の1程度の時間で、やはり女性に非常に偏重している。

2018年6月2日(土) 13:30~15:30

今回は、水無田気流さんに「世界一孤独」と言われる日本の男性と、家庭でも自分の「時間を持てない」日本の女性、この双方が共に幸福に生きるために何が必要なのかをお話いただきました。



みなし たきりう
水無田 気流さん
(詩人 / 社会学者)

これだけ忙しいのに日本の女性は忙しいと思われていな。過去20年ぐらいで女性の就労率が跳ね上がっているにもかかわらず、妻の家事負担が85%を超える状況はほとんど変わりない。

女性と働き方

実際、今働く人の半数は女性なのに、女性の管理職割合は1割と非常に低い。北欧諸国や先進諸国では大体3割4割が当たり前になっている。

なぜこんなに少ないかと言うと、幹部候補の総合職の女性の離職率が非常に高いからだ。入社後10年経つと、男性の3割が離職し4割が概ね管理職になる、一方女性は総合職の7割が離職、1割がようやく管理職になる。上司は圧倒的に男性が多く、男性は伸びしろという期待値で管理職に上げやすいが、女性は成果を出さないと上がりず、出世に時間が掛かる。課長職以上の割合が20%になるには男性は11~15年ぐらい、女性は30年以上掛かり、男性より長時間働いて出世は3倍遅れる。あまりにも捧げるものが多くて、得るもののが少なく、管理職への動機づけにならない。

離職理由は、「仕事への行き詰まり、不満感」つまりやりがいを感じられない、上司が自分のことを信頼してくれないなど仕事の評価関連の問題が6割で、「育児のため」はたったの3割だ。

女性・男性といった性差にとらわれたマネジメントを行い、社員の特性を合理的に把握し活かすのが下手な経営者ほど、経営効率が悪い。統計からも女性の正社員割合や役員の女性割合が高い会社は、利益率も高く正の相関関係が見られる。

また、賃金水準の差が女性だけの問題ではないところが深刻だ。急速に高齢化が進み、ケアワークを抱える可能性は誰しも非常に高くなっている。今、日本はようやく女性が子どもを産み育てながら就労を継続することに目が向いてきたが、独身の中年男性が仕事を続けながら老親の介護するところまでは眼中がない。子育て、介護など家族の状況で、あっという間に低生産性の仕事になってしまう、稼げなくなってしまうのはやはり非合理的で、人口減少社会

の中で非常に問題だ。

出産・子育て、家庭経営など幅広い日本の妻・母業は、女性ならできて当たり前と思われ、基本的には女性が一人でこなすワンオペで、これらすべてを無給で喜んでやらなければいけないと言われているが、実際働きながらの両立は大変なので、今、独身の20代・30代女性の3人に1人は専業主婦希望となっている。だが、専業主婦の妻を望む独身男性は5人に1人で、このギャップも大きい。

30代男性の年収は90年代後半から2000年代後半までのたった10年で、中央値で見ると200万円下がり、若年層ほど1人で妻子を養うのは困難と思う男性が多い。私の教える大学生でも男子学生の8割くらいは共働きを望み、これは民間や政府統計でも同様だ。

女性活躍推進法などの前提となる政府や中央官公庁のとらえかたは、例えば女性のライフコースを考えるとき、妊娠・出産・子育てなどの問題でも、本来は1人の才覚では何ともしがたいところを、女性の個人責任にさせられている部分が大きすぎることを共有していただきたい。

今の日本で社会のあり方を変えずに出産・育児と就労を両立するとは、実質的には「会社村の住人をやりながら家庭責任を全うする」ことになり、これは絶対に体が二つないとできないことだ。

男性は企業の、女性は家庭・地域社会の「時間財」として、時間を差し出せるかどうかが重要視され、雇用した人に仕事を割付けているが、本来仕事は部分部分に分けて協業できる体制であれば、ワークシェアリングもしやすいはずだ。

「女性を企業のメンバーに、男性を家庭・地域社会のメンバーに」これを同時に推進すべきなのに、今働いていない女性をとにかく雇用市場に押し上げることしか考えられていない上に、男性の働き方の根本的な見直しが含まれていない。問題が起きたところに女性の働き方や生き方を柔軟に対応させるような対処療法ではなく、男性片働き、女性が家庭責任という標準世帯を前提とした社会制度を見直す必要がある。働き方改革を言うならば、暮らし方改革を同時に進行させるべきなのではないだろうか。

1日当たり

34分

「イクメン」（育児をする男性）という言葉がすっかり定着し、最近は「カジダン」（家事をする男性）という言葉も広く認知されてきています。しかし、諸外国と比べると日本では夫が家事・育児にかける時間は少なく、6歳未満の子供を持つ夫婦で夫が家事にかける時間は1日当たりわずか34分となっています。

6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間

(1日当たり、国際比較)

0:34



1.総務省「社会生活基本調査」（平成28年）Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey" (2016)及びEurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004)より作成。
2.日本の値は、「夫婦と子供の世帯に限定した夫と妻の1日当たりの「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計時間（週全体平均）。

出典：男女共同参画白書平成30年版（内閣府）

夫の家事時間は家事全体のわずか6.3%

上の表からわかるように、日本の夫婦の一日当たりの家事・育児時間を合計すると8時間57分で、そのうち夫の家事・育児時間は1時間23分、育児を除いた家事時間は34分となり、世帯の家事・育児時間全体のわずか6.3%です。

平成28年に、内閣府が18歳以上の男女を対象に行った「男女共同参画社会に関する世論調査」のうち、「『夫は外で働き妻は家庭を守るべきである』という考え方に関する意識調査」によると、「賛成及びどちらかといえば賛成」と回答した男性は44.7%と、現在も半数近い男性に性別による役割分担意識があることがうかがえます。それでも、49.4%の男性は「反対及びどちらかといえば反対」と回答しており、近年、夫の収入だけでは家計が苦しくなってきて、「妻にも働いて（家計を助けて）ほしい」という考えを持つ夫が増えたことも一因かもしれません。

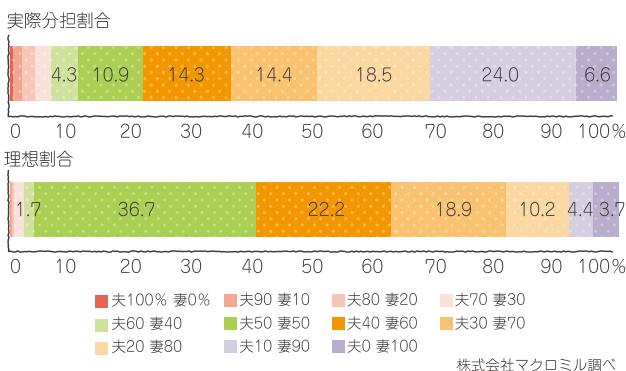


家事分担の理想と現実

共働き世帯が増えると家事・育児はいったいどちらが行うのでしょうか。平成29年10月に株式会社マクロミルが行った「共働き夫婦の家事分担に関する調査」を基に考えます。

この調査での「共働き」とは、「夫婦ともフルタイム（週40時間以上）で働いていること」を意味しており、20～40代の男女1,000人に對して、夫と妻の家事分担割合などについて調査しています(回答割合男性約60%、女性約40%)。

夫婦の家事分担割合（実際と理想の比較）



調査結果によると、夫と妻の家事分担割合が50:50の夫婦は10.9%しかおらず、一番多かったのが、夫と妻の家事分担割合が10:90の24.0%、ついで20:80で18.5%、となっており、調査世帯の77.8%は妻に多くの家事負担がかかっていることがわかりました。

また、理想とする夫婦の家事分担の割合についての調査結果では、夫と妻の家事分担割合を50:50とするのが理想、と考える人の割合が36.7%と増加している一方で、59.4%の人が妻の方が夫より多くの家事を負担することが理想である、と回答していました。

50:50（フィフティフィフティ）であることが平等と考えるとしたら、なぜ共働きであるにもかかわらず「妻の家事負担割合が高い状態が理想」と回答しているのでしょうか。夫の就業時間が長いことから、現実問題として夫に家事を行うだけの時間がなく、妻側に「現実問題として家事を頼めない」というあきらめがあり、それが理想の数値に反映されているのかもしれません。また一方で、仕事を持っていても「家事・育児は妻が行うもの」という考え方を持ち、自分を追い込んでいる妻もいるのではないでしょうか。

妻が夫に家事を任せられない理由として、「手際が悪い」「自分でやった方が早い」などという考えがあるのかもしれません、家族はひとつの小さなコミュニティなので、その中でうまれてくる仕事（家事や育児など）には、性別にとらわれることなく関わっていきたいですね。

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」ってなぁに？



2018年5月16日に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」（以下、「推進法」という）が成立し、同月23日に公布・施行されました。この「推進法」は2016年に法案が提出されたものの、与野党の意見の食い違いにより継続審議となっていましたが、今回やっと全会一致で成立しました。



推進法の目的

この法は、「国または地方公共団体における政策の立案及び決定において、多様な国民の意見を的確に反映するため、男女共同参画社会基本法の基本理念にのっとって、政治分野での男女共同参画の推進に関する施策の基本となる事項を定めることにより、効果的かつ積極的に社会の対等な構成員である男女が共同して参画する民主政治の発展に寄与すること」を目的としています。

3つの基本原則

1.

衆議院、参議院及び地方議会の選挙において、政党等の政治活動の自由を確保しつつ、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指して行われるものとする。



2.

性別による固定的な役割分担等を反映した社会制度やこれまでの慣行に影響されることなく、性別にかかわりなくその個性と能力を十分に発揮できるようにする。



3.

相互の協力と社会の支援の下に、公職等としての活動と家庭生活の円滑かつ継続的な両立が可能となるようにする。



この他、基本的施策として国及び地方公共団体の責務、政党その他の政治団体の努力、実態調査及び情報収集、啓発活動、環境の整備、人材育成等の努力が必要であることが盛り込まれた内容となっています。

少ない日本の女性国会議員数

2018年3月現在の衆・参両国会議員に占める女性割合は13.7%で、調査対象193か国のうち第140位（資料: GLOBAL NOTE 出典: IPU）と、今の日本の女性議員割合が非常に少ないと示しています。世界経済フォーラム（WEF）が毎年発表している各国のジェンダーギャップ指数（GGI）では、女性の政治参画の遅れが足を引っ張り2017年の日本の順位は144か国中114位でしたが、推進法が施行されることで、女性議員が増え女性の政治参画が進むことで、女性の視点が活かされた社会になることが期待されます。

この「推進法」をどう活かすかは私たち次第です。私たちも今まで以上に政治に関心を持ち、未来を託せる候補者を見極める目を養うことがより必要となってくることでしょう。この法律が「絵に描いた餅」にならないよう見守っていきたいものです。



ソーレ図書・情報資料室から

おすすめ 図書紹介



図書

わたしを生きる知恵
80歳のフェミニストカウンセラー
からあなたへ

河野 貴代美 著
三一書房 2018年1月

フェミニズムとは「自分を肯定し、自分らしく生きるための生活の知恵・指針のようなもの」と著者は言っています。フェミニズムに出会って40年の歳月の中で培った知恵や歴史を現在に生きる女性たちに語り継ぐことが必要だという思いが詰まっている一冊です。



図書

わたしはヴァネッサと歩く
クラスのいじめを止めさせた、
たった一つの行動

作・絵 ケラスコエット
岩崎書店 2018年2月

この絵本には文字がまったくありません。それなのに何度も見返したくなります。「わたし」の決断と勇気、そして仲間への働きかけがヴァネッサを救うことになります。絵本の最後のページには、この絵本を読んだ「あなた」が行動を起こすためのヒントがいくつか書かれています。

ソーレの図書室には、図書を約12,600冊、ビデオ・DVDは約960本所蔵しています。

ご自身を証明するものをお持ちいただければ、貸出カードを作ってすぐにご利用できます。読書の秋、ソーレ図書室の本を読んで過ごしませんか？（ビデオ・DVDは図書室でもご覧いただけます）

利用時間

火曜～金曜 9:00～20:00

土・日・月 9:00～17:00

休館日

第2水曜・祝日・年末年始

貸出期間

(図書) 5冊まで2週間

(DVD) 2本まで1週間 ※高知市外在住の方は2週間



図書

**ハッピーエンドに
殺されない**

牧村 朝子 著
青弓社 2017年10月

Web上での連載「女と結婚した女だけど質問ある？」を基にした、対話形式の内容に書き下ろしを加えたエッセイ集。

タイトルには「ハッピーエンド」という型にはめられたくない、小さい頃から自分自身のあり方について悩んできた著者のありのままの姿が描かれています。



DVD

**レイチェル・カーソン
の感性の森**

監督 クリストファー・マンガード
配給 アップリンク
2008年

自然と共に存するための知恵と信念にあふれた、レイチェル・カーソンのベストセラー「センス・オブ・ワンダー」を映画化。原作は、末期ガンに侵された彼女が、最愛の姪の息子に、自然の美しさや神秘さに目を見張る感性をいつまでも失わないでほしいという願いを込めて書かれており、本作品では、二人が共に過ごした穏やかな日々を美しい映像で表現しています。

貸館のご案内

ソーレには、「どなたでも」「1時間単位」で借りられる貸室があります。

多彩な貸室

少人数で利用できる研修室をはじめ、300人まで収容できる大会議室の他、茶道具を備えた和室や調理実習室など、目的に合わせてお選びいただけます。

低料金

研修室（定員30名）なら、平日1時間420円。土日利用でも510円。

しかも夜間も料金（営利団体や営利を目的とする利用の場合は、2倍になります）。

また、冷暖房やプロジェクターなどの備品は、全て無料。

便利

目の前を路線バス・路面電車が通り、JR旭駅からもすぐ近くの便利な場所にあります。

簡単な利用登録をすれば、
予約は電話でOK。
ぜひお気軽に
お問い合わせください。



大会議室



和室

レクリエーション室



この人に聞きました

さっぱりおいしい！ 手作りピクルス

今回は、家庭で簡単にできるピクルスの作り方をうかがいました。



「無添加ジャム・ピクルス工房 ペリート」

戸梶 知佐子さん

HP <http://jp-perrito.com>

「ペリート（perrito）」はスペイン語で「わんちゃん」という意味。以前経営していたドッグスイーツ（犬用のおやつケーキ）のお店の名前を、そのまま使用しています。

最初は、パンとケーキの教室を開くために場所を構え、その後ドッグスイーツ店を経てカフェを始めましたが、多忙により体力的に限界がきたことに加え、脊髄の病気で車椅子生活となり、やむなく閉店しました。

しかし、やはり「お店をやりたい」と夫に相談。店舗と工房を分けて、さらにバリアフリーに改装し、もともと好きで製造販売をしていたジャムと、東京の友人に教わったピクルスを自分なりにアレンジして販売するお店を2017年4月にオープンしました。今は毎日がとても楽しいです。

今年7月から日曜市にも出店中。いずれギフト用商品のネット販売もしたいと夢は膨らみます。

愛するジャムへのこだわり

季節のもの・旬のものはもちろん、使用する材料のほとんどは、県内外の友人が送ってくれる新鮮なものを使用しています。加工品だから妥協はせず、「見てきれいなもの」「そのまま食べておいしいもの」を使用し、形が崩れた材料は使わないことが信条です。

ジャムは作り手により味が変わり、同じレシピでも違う仕上がりになるため、自分なりのレシピで満足いくものを作ることを心掛けていて、それが手作りの良さだと思います。楽しんで作ったものをたくさん的人に食べてもらい、「おいしい♪」と言ってもらえることが一番うれしい。作ることができる量には限界があるけれど、できる範囲で製造・販売をこれからも続けたいと思っています。

ピクルス液の作り方

酢	200cc	ローリエ	2枚
水	200cc	唐辛子	1本
砂糖	50 g	ブラックペッパー	6粒
塩	10 g	クローブ	4粒

1. 鍋に水・ハーブ類を入れ、中火で沸騰させてハーブの香りを移す。
2. 1に塩・砂糖を入れ、煮溶かし火を止める。
3. お酢を入れ、蓋をして一晩おく。

広口瓶に食べやすい大きさに切ったお好みの野菜をきっちり詰め、ひたひたまで液を注ぎ入れたら完成。
2週間たった頃から食べごろになります。

（漬け込む野菜の例）人参・大根・きゅうり・レンコン・ヒヨコ豆・パプリカなど

おいしく作るポイント

- ・野菜はさっと下茹でする（豆類は少し硬めに）。
 - ・同じ瓶に入れる野菜は同じ大きさに切りそろえる（漬かり方にむらができる）。
 - ・きゅうりは水気の多い種の部分を取る。
- ※お店のものは、この基本のピクルス液に、マスタード・ローズマリー・クミンなどの香辛料を加え、複雑な味を出しているそうです。



食べた後のお楽しみ

ピクルス液には野菜と香辛料の風味がついているので、ポテトサラダを作るときなどに使用するとおいしいですよ♪



講座のご案内

DV防止啓発講演会

無料

男性の非暴力宣言 ～男性の立場から取り組む DVのない社会づくり～

自己肯定からはじめるエンパワメント講座

～『わたしまるごとOK』のすすめ～

私たちは、思い込みや他人の評価ばかりにとらわれ、つい自分自身を過小評価しがちです。安心して等身大の自分で一步を踏み出すために、自信の土台となる「自己肯定感」を高める講座です。

日 時 平成30年10月28日(日) 10:00~16:00
講 師 工藤紀子(一般社団法人日本セルフエスティーム普及協会代表理事)
参加費 1,000円 対 象 女性 定 員 30名(先着順)
申 込 受付中! 電話またはHP申込フォームにて

子育て応援講座

親子で学ぼう! 災害に備える知恵と行動

災害時に使えるものづくり体験や試食、クイズなどを通じて、親子で一緒に災害が起きたときの行動について学びます。

日 時 平成30年11月24日(土) 10:00~12:00
講 師 津野美保(ソーレサポーター講師)及び 高知県栄養士会員6名
対 象 保育園園長～小学1・2年生のお子さんとその保護者
定 員 30組(先着順) 参加費 1家族500円
申 込 10月26日(金)午前9時～ 電話またはHP申込フォームにて

男女共同参画講座

現代人が感じるジェンダー

無料

～「女らしさ」「男らしさ」に惑わされない生き方を学ぶ～

「女らしさ」や「男らしさ」に縛られすぎていませんか。ジェンダー(社会的性別)について知り、自分らしく生きるための講座です。

日 時 平成30年12月9日(日) 13:00～16:00
講 師 濱田智崇(京都橘大学准教授・心理カウンセラー)
対 象 どなたでも 定 員 30名(先着順)
申 込 11月5日(月)午前9時～ 電話またはHP申込フォームにて

女性に対する暴力の問題は、男性にとって決して無関係ではありません。ホワイトリボンキャンペーンの活動に取り組んでいる講師から、女性も男性も暴力から解放され、安心して暮らすためのお話を伺います。

日 時 平成30年11月4日(日) 13:30～15:30
講 師 多賀太(関西大学文学部教授)
定 員 100名(予約優先)
申 込 随時 電話またはHP申込フォームにて



就労支援パソコン講座

① 2日で学ぶ! パワーポイント基礎講座

日 時 平成30年11月17日(土)・24日(土) 10:00～16:00
講 師 横山桂子(NPO法人とさはちきんねっと)
参加費 4,160円(テキスト代2,160円込・初回にお支払いください)
対 象 就職活動中または仕事をしている20～50代の女性で文字入力とマウス操作ができる方
申 込 10月15日(月)午前10時～ 電話にて(平日10～17時のみ受付)

② パワーポイント検定対策講座

日 時 平成30年11月25日(日)、12月1日(土) 10:00～16:00(全2回)
講 師 横山桂子(NPO法人とさはちきんねっと)
参加費 6,420円(テキスト代4,420円込・初回にお支払いください)
対 象 就職活動中、または仕事をしている20～50代の女性でパワーポイントの基本操作ができる方
申 込 10月22日(月)午前10時～ 電話にて(平日10～17時のみ受付)

① ② とも 定 員 20名(先着順)

申込先 NPO法人とさはちきんねっと
電話 090-5712-2040

● 詳しくは、ソーレホームページをご覧ください。

● お申し込み・お問い合わせはお電話でソーレまで

TEL(088)873-9100

✉ ソーレ・メールマガジン「FROMソーレ」

購読無料!

講座情報を定期的に
お届けします。



こちらのQRコードから
登録画面に直接アクセスして
登録後、確認メールが届きます。
URLにアクセスして登録をして
ください。

施設利用のご案内



● 貸室利用時間

9:00～21:00 (土・日・月曜日9:00～17:00)

● 休館日

第2水曜日・祝日・(年末年始)12月29日～1月3日

● 図書・情報資料室

9:00～20:00 (土・日・月曜日9:00～17:00)

※ただし図書利用カード発行及び再発行の受付は、17:00まで

● 相談室

9:00～12:00、13:00～17:00

(専用電話/088-873-9555)

※第2水曜日、祝日、12月29日～1月3日は休室です

あなたの声をお聞かせください

紙面へのご感想、また主催事業や
施設利用等に関する、あなたの声
をお待ちしています。

● 電話 088-873-9100

● Fax 088-873-9292

● Eメール sole@sole-kochi.or.jp

● HP http://www.sole-kochi.or.jp

● Facebook こうち男女共同参画センター「ソーレ」

発 行 公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団

発行日 平成30年10月10日

● 所在地

〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地

● アクセス

電車…「旭町3丁目」下車100m

バス…「旭町3丁目」下車50～200m

JR…「旭駅」下車400m

駐車スペースが少ない
ため公共交通機関をご利用のうえ、ご来館
ください。

